

平成13年度 文学部 授業計画表[syllabus]

地1選必・社免歴免必

科目名 (英文名)	日本地誌 Geography of Japan	4単位	(ふりがな) 担当者	うち 内	だ 田	より 順	ふみ 文
<p>授業のねらいと概要: 地誌の学習とは、ある場所について、これまで知らなかった様々な種類の地理的知識を得、それらを「自分のもの」にする過程だと言えます。この時間は、最も身近な国について、おそらくあまり知られていないであろう意外な事実を、主として文化や風俗の面からいくつか取り上げ、同時に現代の社会を理解するために必要な一般的な地理的常識についても言及します。高校まで習った地理とはおそらく違って、地名や産物といった知識の単なる暗記はまったく要求しませんが、そのような表面的な知識を覚えるのではなく、「この講義内容の持つ意味は何なのか?」「なぜ私はこのような講義を行うのか?」「私はこの講義で何を伝えようとしているのか?」といった一段深い(メタフィジカル)部分での問題意識を常に持ち続けることを、毎時間要求します。</p> <p>具体的な講義内容としては、「日本の西と東」「県域と県庁所在地の成立と背景」「日本の場所イメージ」「人文主義地理学入門」「地名学の初歩」を予定しています(都合により内容・順序が多少変わることがあります)。</p> <p>なお、みなさんがこの講義を受講するための最低必要条件、講義のルール、受講生の評価方法などについて詳しい説明を行いますので、少しでも受講する可能性のある人は、必ず1回目のガイダンス授業に出席して下さい。ガイダンスを聞かなかった人には当講義の履修を遠慮してもらうことがあります。</p>							
<p>教科書と参考図書: 教科書は使用せず、毎時間のはじめに必要なプリントを配布します。参考書は希望があれば紹介します。</p>							
<p>評価法: 前期試験(有り)、後期試験(有り)、レポート(無し) 受講者の数によって変更することがありますので、詳細については、1回目のガイダンスの時間に決定します。</p>							

【授業計画】

回数	授 業 内 容 と そ れ に 必 要 な 準 備	回数	授 業 内 容 と そ れ に 必 要 な 準 備
第1回	講義内容についての説明と受講に際しての注意 いったい地理学とは何なのか? 地誌とは何か? 地誌と地理学の違い	第13回	日本の場所イメージ(1) 場所のイメージはどのようにして作られたか? 軽井沢の事例
第2回	日本の西と東(1) 自然環境から見た違い 地帯構造、気候と植生から日本の西と東を考える	第14回	日本の場所イメージ(2) 場所のイメージはどのようにして作られたか? 小京都の事例
第3回	日本の西と東(2) 形質人類学・考古学から見た違い 頭長・身長・血液型などの分布からみた西と東	第15回	人文主義地理学入門(1) 人文主義地理学とは何か? 場所に与えられる「意味」とは?
第4回	日本の西と東(3) 言語学から見た違い 方言の分布から日本の西と東を考える	第16回	人文主義地理学入門(2) 世界の神話・宗教に見る空間の区分と方位 キリスト教の世界観、仏教の世界観
第5回	日本の西と東(4) 民俗学から見た違い 民俗文化の差異から日本の西と東を考える	第17回	人文主義地理学入門(3) 中国の世界観: 陰陽五行と風水説 風水と日本の伝統的世界観
第6回	日本の西と東(5) 食文化から見た違い 様々な食文化の差異から日本の西と東を考える	第18回	人文主義地理学入門(4) 風水と古代都城の都市計画 飛鳥・平城京・平安京に与えられた意味
第7回	日本の西と東(6) 食習慣から見た違い 様々な食習慣の差異から日本の西と東を考える	第19回	人文主義地理学入門(5) 文学と地理学(1) 和歌の中のイメージ、歌枕
第8回	日本の西と東(7) 結論 日本の「西」と「東」の存在について総括する	第20回	人文主義地理学入門(6) 文学と地理学(2) 小説の中のイメージ
第9回	県域成立の背景(1) 廃藩置県から県域確定まで 今日の県域の原型となった廃藩置県について	第21回	人文主義地理学入門(7) 映画と地理学(1) 宮崎駿のアニメを読む
第10回	県域成立の背景(2) 新政府側の藩の場合 山口・鹿児島・高知などの各県の事例について	第22回	人文主義地理学入門(8) 映画と地理学(2) 宮崎駿と地球環境認識
第11回	県域成立の背景(3) 反政府側の藩の場合 茨城・福島・滋賀などの各県の事例について	第23回	地名のもつ諸問題(1) 地名研究の意義と地名の拡大 当て字と省略
第12回	県域成立の背景(4) 県の分離独立運動とその結果 県名と県庁所在地の謎	最終回	地名のもつ諸問題(2) 地名のもつ問題点 地名変更